

下教学第145号
令和6年5月14日

下野市立学校長様

下野市教育委員会教育長 石崎 雅也

課題を同僚との話題に ～当たり前の取組(その2)～

新年度が始まり一か月が過ぎました。子供たちは新たな学級等にも慣れ、本来の力を発揮し始めている頃かと思います。一方で、気の緩みから、年度始めはしっかりできていたことができなくなっていたり、様々なトラブルが発生したりしている頃かとも思います。同時に、先生方の悩みも膨らみ始めている時期ではないでしょうか。

そもそも、多くの子供たちが集まる学校において、様々な問題が発生することは当然のことであり、子供たちの成長においてむしろ必要なことです。それを理解しながら、どうすればそれらの問題を子供たち一人一人の、そして集団の成長につなげていけるか考え、手立てを講じていくことが私たちの大きな役目と言えるでしょう。

しかし、簡単なことではありません。ぜひとも目の前の子供の課題を一人で抱え込みます、同僚と共有しながら、多くのコミュニケーションを重ね、よりよい教育活動につなげていただきたいと思います。そして子供たちの望ましい集団作りを通して、先生方もより一層素晴らしい教育集団となっていくことを願っています。

いい顔・いい声・いい心で 日々の教育活動の実践！

望ましい集団づくりのための9つの基盤を基に、同僚と振り返ってみましょう

一人一人の児童生徒が…

□安心して生活できているか

□個性を発揮できているか

□自己決定の機会を持つことができているか

□集団に貢献できる役割を持つことができているか

□達成感・成就感を持つことができているか

□集団での存在感を実感できているか

□他の児童生徒と好ましい人間関係を築くことができているか

□自己肯定感・自己有用感を培うことができているか

□自己実現の喜びを味わうことができているか

どこに手立てが必要かな？

どんな手立てがいいかな？

【参考：生徒指導提要 P25】

下野市教職員の当たり前!!
小さなサインを見逃さず、早期発見・早期対応
迅速な報告・連絡・相談を!!

『節電、節水、節約』
3S運動推進中
下野市教育委員会事務局
学校教育課
TEL0285-32-8918